

研究評価委員会

グリーン・サステイナブルケミカルプロセス基盤技術開発／「有害な化学物質を削減できる、
又は使わない革新的プロセス及び化学品の開発」・「廃棄物、副生成物を削減できる
革新的プロセス及び化学品の開発」（事後評価）分科会

日 時：平成24年9月14日（金） 10:00～15:25

平成24年9月21日（金） 9:30～18:30

場 所：コンベンションホール AP浜松町 会議室B・C

〒105-0011 東京都港区芝公園 2-4-1 ダヴィンチ芝パーク B館地下1F

議事次第

<1日目> 9月14日（金）

【公開セッション】

- | | |
|-----------------------------|--------------------------|
| 1. 開会、分科会の設置、資料の確認 | 10:00～10:10（10分） |
| 2. 分科会の公開について | 10:10～10:15（5分） |
| 3. 評価の実施方法 | 10:15～10:20（5分） |
| 4. 評価報告書の構成について | 10:20～10:25（5分） |
| 5. プロジェクトの概要説明 | |
| 5.1. 事業の位置付け・必要性／研究開発マネジメント | 10:25～10:45（20分） |
| 5.2. 研究開発成果／実用化・事業化の見通し | 10:45～11:35（50分） |
| | （東大：20分／分子研：10分／産総研：20分） |
| 5.3. 質疑 | 11:35～12:15（40分） |

（昼食・休憩 60分）

- | | |
|--|--------------------------|
| 6. プロジェクトの詳細説明 | |
| 6.1. 分子研G：高機能不均一触媒の開発と環境調和型化学プロセスの研究開発 | |
| 6.1.1. 錯体触媒を利用した水中不均一条件での精密化学合成法の研究開発（分子研） | 13:15～13:55（説明20分、質疑20分） |
| 6.1.2. ナノ触媒を利用した水中不均一条件での酸素酸化反応の開発研究（分子研） | 13:55～14:35（説明20分、質疑20分） |
| 6.1.3. エステル・アミド類の高効率・高選択的合成法の開発研究（名古屋大） | 14:35～15:15（説明20分、質疑20分） |
| ○ 分子研Gの全体を通しての質疑 | 15:15～15:25（10分） |

< 2日目 > 9月21日 (金)

【非公開セッション】

非公開資料取り扱いの説明 9:30~9:40 (説明 8分、入替 2分)

6.2. 東大G : 革新的アクア・固定化触媒プロセス技術開発

6.2.1. アクア触媒によるアセトアルデヒド製造プラント排水中の

希薄酢酸回収技術 (東京大+昭和電工)

9:40~10:40 (説明 30分、質疑 28分、入替 2分)

6.2.2. 固定化触媒を活用する革新的水素化反応システム開発 (東京大+日光ケミカルズ)

10:40~11:40 (説明 30分、質疑 30分)

(昼食・休憩 50分)

6.2.3. グリーンプロセスのための高分子固定化金属触媒試薬の開発 (東京大+和光純薬)

12:30~13:30 (説明 30分、質疑 28分、入替 2分)

○ 東大Gの全体を通しての質疑 13:30~13:42 (質疑 10分、入替 2分)

6.3.産総研G : 革新的酸化プロセス基盤技術開発

6.3.1. 過酸化水素を用いた反応系の基礎研究 (産総研)

13:42~14:52 (説明 40分、質疑 28分、入替 2分)

6.3.2. 多官能性基質の酸化技術開発 (昭和電工)

14:52~15:27 (説明 15分、質疑 18分、入替 2分)

6.3.3. 高分子量基質の酸化技術開発 (電気化学)

15:27~16:00 (説明 15分、質疑 18分)

(休憩 10分)

6.3.4. 易加水分解性基質の酸化技術開発 (荒川化学)

16:10~16:45 (説明 15分、質疑 18分、入替 2分)

6.3.5. 難酸化性基質の酸化技術開発 (JNC)

16:45~17:20 (説明 15分、質疑 18分、入替 2分)

○ 産総研Gの全体を通しての質疑 17:20~17:30 (10分)

7. 全体を通しての質疑 17:30~17:50 (20分)

【公開セッション】

8. まとめ・講評 17:50~18:20 (30分)

9. 今後の予定、その他 18:20~18:30 (10分)

10. 閉会

以上